

1. KVM ユーティリティのインストール

動作対象製品（対応 OS）

- REX-430UDA、REX-230UDA、REX-430U、REX-230U
(Mac OS 9.2.2、Mac OS X 10.3.x、10.4.1以降)
 - REX-220CUDP、REX-210CUP (Mac OS 9.2.x、Mac OS X 10.3.x、10.4.1以降)
- ※ Mac OS 9 Classic モードでは動作しません。
 ※ Boot Camp や仮想 OS での使用はサポートしていません。
 ※ Mac OS X 10.6 では Rosetta がインストールされた環境で動作します。

KVM ユーティリティをインストールすると、ホットキー（キーボード）による切り替えと、ホットスイッチ（デスクトップ上のスイッチ）のクリックによる切り替えが可能となります。
 KVMユーティリティがインストールされていない状態でも、本体の切替ボタンでの切替が可能です。
 以下の手順に従って、KVM ユーティリティのインストールを行ってください。
 （実際とは、画面が若干異なる場合があります。）

1-1. Mac OS X でご使用の場合

- ① 弊社ホームページより KVM ユーティリティをダウンロードします。
- ② [KVMUtility_X.pkg] をダブルクリックします。
(システムの設定状態によっては “.pkg” が表示されません。)
- ③ 画面の表示に従い、KVM ユーティリティをインストールしてください。
KVM ユーティリティは、アプリケーションフォルダにインストールされます。
- ④ 起動時に KVM ユーティリティを自動的にロードさせるには、以下の手順で設定を行ってください。



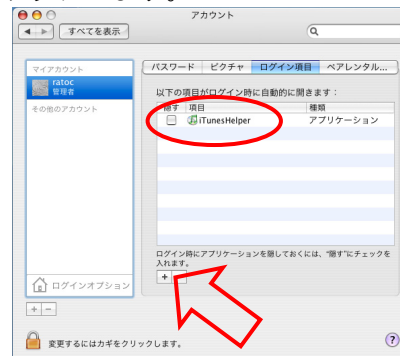
1) Dock から [システム環境設定] を起動します。



2) [アカウント] を選択します。



3) [ログイン項目] を選択し、[+] をクリックします。

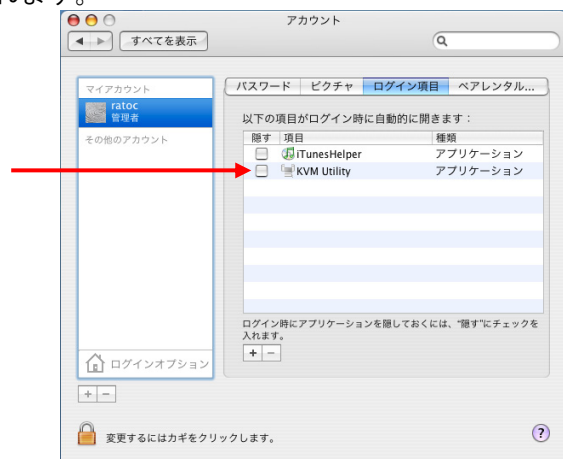


KVM ユーティリティ マニュアル Rev. 2.0

- 4) [アプリケーション]フォルダから[KVM Utility]を選択し、
[追加]をクリックします。



- 5) [項目]に[KVM Utility]が追加されます。



- 6) 次回起動時より、自動的に KVM ユーティリティがロードされます。

※ KVM ユーティリティをアンインストールする場合は、[アプリケーション]フォルダにある [KVM Utility] を [ゴミ箱] に移動してください。

1-2. Mac OS 9 でご使用の場合

- ① 弊社ホームページより KVM ユーティリティをダウンロードします。

- ② [Japanese] フォルダを開きます。



- ③ [KVM Installer-J] をダブルクリックします。



- ④ 画面の表示に従い、KVM ユーティリティをインストールしてください。
KVM ユーティリティは、アプリケーションフォルダにインストールされます。
システムの起動項目に KVM ユーティリティが自動的に登録されます。

- ⑤ インストール完了後、システムを再起動してください。

※ KVM ユーティリティをアンインストールする場合は、ダウンロードした [Mac OS 9] - [Japanese] フォルダを開いて [KVM Installer-J] をダブルクリックし、[アンインストール] を選択してアンインストールを実行してください。

2. 切り替え方法

切り替え操作は、10 秒以上の間隔をあけて行ってください。

2-1. 切り替えボタンによる切り替え

本体にある切替ボタン (SELECT) を押して切り替えます。



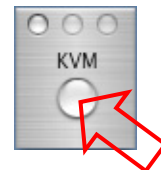
※写真は REX-230UDA です。

2-2. ホットスイッチによる切り替え (Mac OS X の場合)

KVM ユーティリティのメニューから [ホットスイッチ] - [ホットスイッチパネルを表示] を選択します。



デスクトップに [ホットスイッチパネル] が表示されますので、クリックして切り替えます。



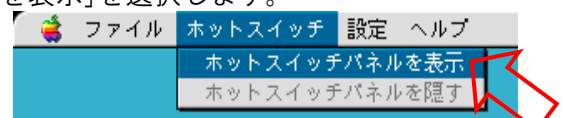
※ 本設定およびホットスイッチの画面位置は、システム終了/再起動時に保存されません。システム再起動後、ホットスイッチは非表示となります。

2-3. ホットスイッチによる切り替え (Mac OS 9 の場合)

① メニューから [KVM ホットスイッチ] を選択します。



② [ホットスイッチ] - [ホットスイッチパネルを表示] を選択します。



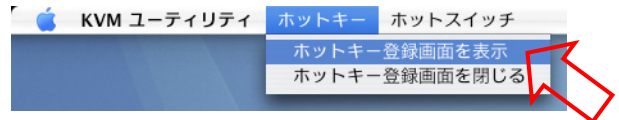
③ [スイッチ] をクリックして切り替えます。



※ 本設定およびホットスイッチの画面位置は、システム終了/再起動時に保存されません。システム再起動後、ホットスイッチは非表示となります。

2-4. ホットキーによる切り替え (Mac OS X の場合)

- ① KVM ユーティリティのメニューから[ホットキー]—[ホットキー登録画面を表示]を選択します。



- ② [ホットキー登録]画面で、任意のキーを選択し、[登録]をクリックします。

下図では、[Apple Command]+[F11] (Apple Command キーを押しながら F11 キーを押す) に設定しています。

(デフォルト設定: [Apple Command]+[F14])



[Apple Command]キーや[Shift]キー等と組み合わせず、ファンクションキーのみで登録することも可能です。

(右図では、F14 キーに設定しています。)



MacOS 10.4.1以降では、[F14]と[F15]キーを単独で設定することができません。
[F14]もしくは[F15]キーを使用する場合は、必ず[Apple Command]キーや[Shift]キーと組み合わせ設定してください。

他のアプリケーションに割り当てられている場合がありますので、[システム環境設定]から[キーボードとマウス]を選択し、キーボードショートカットで未割り当てのキーを確認してください。

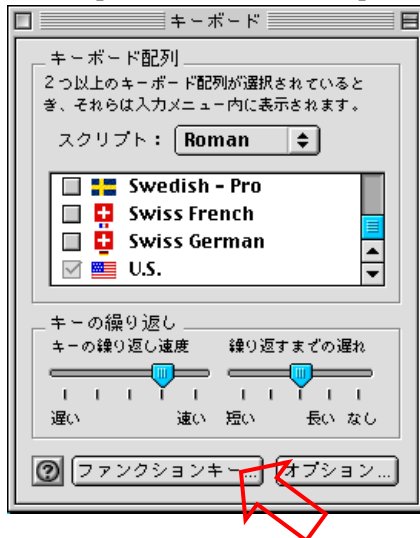
- ③ 登録したホットキーで切り替えを行います。

2-5. ホットキーによる切り替え (Mac OS 9 の場合)

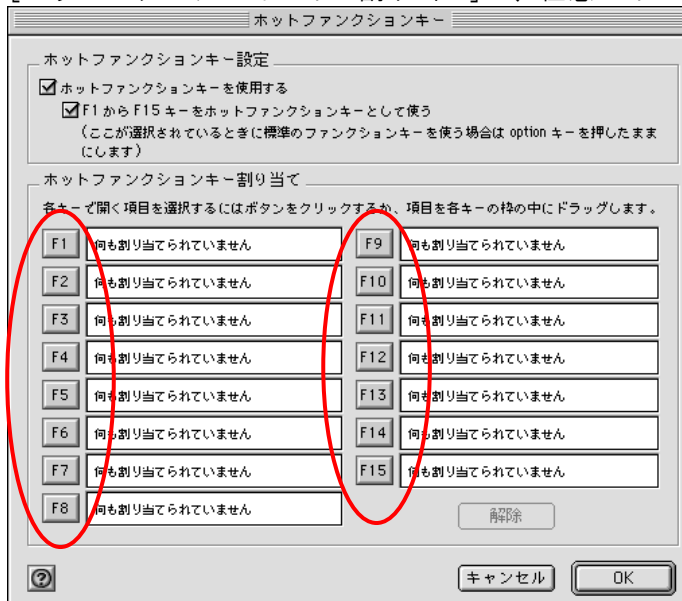
- ① アップルメニューから[コントロールパネル]—[キーボード]を選択します。



- ② 次に、[ファンクションキー]をクリックします。



- ③ [ホットファンクションキー割り当て]で、任意のキーをクリックします。

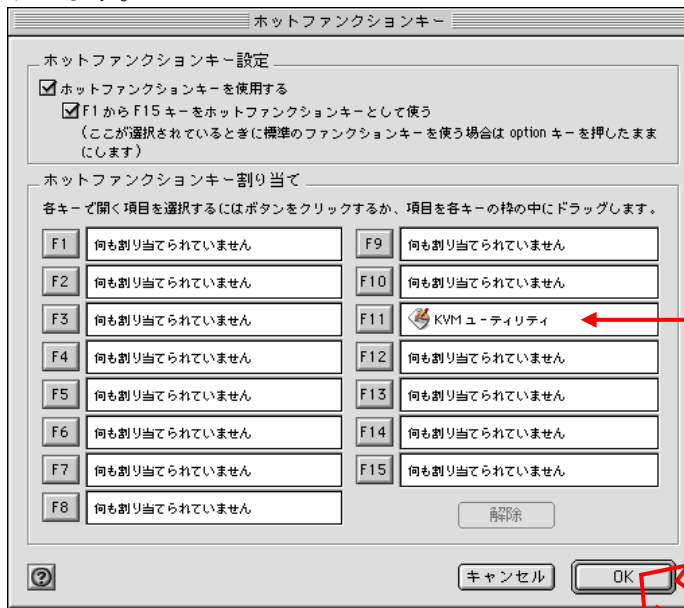


KVM ユーティリティ マニュアル Rev. 2.0

- ④ [KVM ユーティリティ] を選択し、[割当てる] をクリックします。



- ⑤ 割り当てたキーに [KVM ユーティリティ] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



（左図では [F11] キーに割り当てています。）

- ⑥ 登録したホットキーで切り替えを行います。

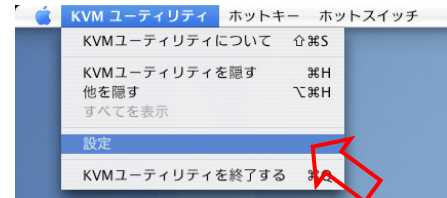
3. スリープ設定について

KVM ユーティリティの設定により、スリープ時の自動切り替えを行うことが可能となります。

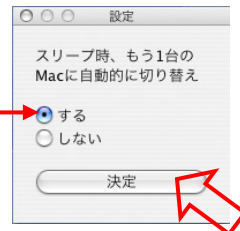
3-1. 1 台の Mac をスリープさせ、もう 1 台の Mac へ切り替える場合

<Mac OS X の場合>

[KVM ユーティリティ] から [設定] を選択します。



[する] を選択し、[決定] をクリックします。

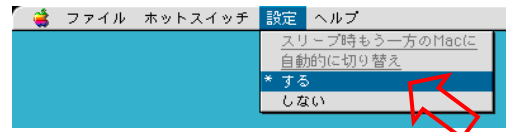


Mac をスリープすると、自動的にもう 1 台の Mac に切り替わります。

<Mac OS 9 の場合>

KVM ユーティリティメニューから [設定] を選択し、[する] を選択します。

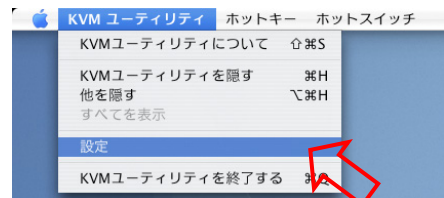
Mac をスリープすると、自動的にもう 1 台の Mac に切り替わります。



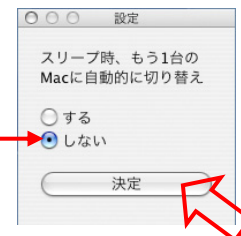
3-2. 1 台の Mac をスリープさせ、もう 1 台の Mac へ切り替えない場合

<Mac OS X の場合>

[KVM ユーティリティ] から [設定] を選択します。



[しない] を選択し、[決定] をクリックします。



Mac をスリープしても、もう 1 台の Mac には自動的に切り替わりません。

<Mac OS 9 の場合>

KVM ユーティリティメニューから [設定] を選択し、[しない] を選択します。

Mac をスリープしても、もう 1 台の Mac には自動的に切り替わりません。

